

(仮称) 彦根総合運動公園整備計画の検討状況等について

1 第 1 種陸上競技場の建築基本設計条件 (案) について

○第 3 回建築検討懇話会 (7 月 29 日開催) において、建築基本設計条件 (案) に反映すべき事項を検討した。

○主な事項

- ①彦根城をはじめとする歴史的な景観との調和
 - ・競技場の高さを抑えること。
 - ・彦根城との連続性を考慮した整備が必要。
- ②彦根城天守からの景観に配慮した屋根の構造
 - ・景観上支障となる照明柱をなくすため、スタンド両側とも屋根を架設し、屋根先に照明設備を設置することが望ましい。
 - ・スタンド全面に屋根を架設し座席を隠すなどデザインの検討が必要。
- ③周辺地域の景観や生活環境に配慮した照明設備
 - ・照明柱は無い方が良い。
 - ・両側スタンドとも光害の抑制が可能となる屋根先照明が望ましい。
- ④周辺地域に馴染む色
 - ・彦根城を尊重し周囲の景観に馴染む色が望ましい。
 - ・明度や彩度を落とし自然に近い色が望ましい。
- ⑤自然素材の使用
 - ・擬石や擬木より本物の素材 (自然素材) を使用する方がよい。
- ⑥公園整備との整合性
 - ・建築と公園の整合がとれたランドスケープとすることが重要。

⇒これらの懇話会の意見を基本設計条件 (案) に反映。

2 第 1 種陸上競技場の全体工事費 (概算経費)

ケース	整備概要	全体工事費 (概算経費)
I	2 万人程度収容、固定席 1 万 5 千席程度、両スタンドに全面屋根設置、屋根先端に照明設備付き	122 億円程度
II	1 万 5 千人収容、固定席 7 千席、両スタンドに全面屋根設置、屋根先端に照明設備付き	106 億円程度

Ⅲ	1万5千人収容、固定席7千席、メインスタンドに全面屋根設置、屋根先端に照明設備付き、バックスタンド側に照明柱2基設置	105億円程度
Ⅳ	1万5千人収容、固定席7千席、メインスタンドに一部屋根設置、両スタンド側に照明柱を各2基設置	103億円程度

3 《住民参画》 みんなで考える公園づくりワークショップでの意見

(1) 目的

- ・住民の皆さまから新しい公園の使い方、楽しみづくりについてアイデアや意見をいただき、より良い公園づくりに活かす。

(2) 開催状況と今後の予定

	日時	場所	テーマ
第1回	平成28年6月18日(土) ・17名参加	彦根総合運動場	新しい公園でこんな事ができたらいいな
第2回	平成28年7月23日(土) ・7名参加	スイミングセンター大会 議室	イメージをふくらませよう
第3回	平成28年8月27日(土)		こんな公園づくりをめざそう

(3) 主な意見

- ・誰もが一日中利用できることよい。
- ・ナイター設備を設置し、夜もスポーツをすることができるとよい。
- ・散歩やウォーキングができるとよい。
- ・第1種陸上競技場は専門的な競技中心ではなく、一般オープンしてほしい。
- ・第1種陸上競技場は収益も必要なので、コンサートやイベントも開催してほしい。
- ・宿泊施設をつくって、合宿、マリンスポーツの拠点にしてほしい。
- ・朝市を開催できるとよい。
- ・公園を観光ルートに含み、観光客も楽しめるようにしてほしい。
- ・水辺周遊コースの一部として、琵琶湖サイクリングロードに取り込んでほしい。
- ・木々に囲まれた休憩所をつくってほしい。
- ・見通しの良い公園になるとよい。
- ・彦根城の撮影スポットとして、公園南側歩道の電線が地中化されるとよい。
- ・災害時の避難場所として使えるとよい。

4 今後の予定

- ・9月末 第1種陸上競技場の建築基本設計条件を取りまとめ。
- ・9～10月 滋賀県都市計画審議会付議（予定）

ちょこっとワークショップ体験「彦根の魅力」

公園について考える前に、ちょこっとワークショップ体験として、「彦根の魅力」についてみなさんにお聞きしました。たくさんの彦根の魅力を考えてもらいました。

■歴史

- ・歴史の町、歴史がある。(3)
- ・幕末の歴史
- ・国宝彦根城(4)
- ・彦根城などの建築、歴史
- ・彦根城を中心とした、昔ながらの町並み
- ・佐和山城跡



■びわ湖

- ・びわ湖(5)
- ・びわ湖のイベントや風景
- ・湖側に夕日、山側に朝日が見える
- ・水鳥
- ・島



■自然

- ・四季にめぐまれた地域、気候が豊か。
- ・とても四季を感じやすい。
- ・サクラ(2 芹川など)
- ・自然が素晴らしい。春は桜、秋は紅葉、夏は緑葉(1)
- ・自然が多い。(みどりが多い)
- ・程よい田舎
- ・農村
- ・夜が涼しい



■スポーツ

- ・観光とスポーツが組み合わせられる可能性がある。
- ・スポーツ施設が併設されている。
- ・スポーツのまち

■住みやすい、まちが良い

- ・近畿と東海の間にある
- ・程よく施設がある(栄えている)
- ・まちの空気感が良い
- ・住みやすい(3)
- ・町並み
- ・銀座商店街
- ・災害が少ない



■交通

- ・交通の拠点
- ・交通の便が良い。新幹線が近い。高速道路が近い。JR駅が近い。

■人

- ・人が良い
- ・真面目な人が多い
- ・子どもが多い



■大学

- ・大学が多い(2)
- ・学生が多い(2)

■名物

- ・カロム
- ・ひこにゃん(3)
- ・花火
- ・ラーメン
- ・鮎
- ・ひこね丼



※ () 内は同様の意見の数

参加者の感想 (抜粋)

- ・楽しかった。夢があってよい。汗をかいて良いものをつくりたい。
- ・多数の意見が出て、今後の参考になると思う。
- ・みんなで楽しくお話ができて良かった。公園スペースが思っていたより小さかった。
- ・利用されている方がもっと多いと良いかな。
- ・“彦根らしさ”のあるものをつくっていきけるように。
- ・若い方の幅広い意見が聞けて有意義でした。
- ・他分野の方々とお話しできて良かったです。
- ・実際に現在利用されている方々の声は「なるほど!」と感じました。
- ・意見をしっかりと反映してもらいたい。市民、県民の意見の場として重要視してください。

ワークショップに関するお問い合わせ先 滋賀県 県民生活部 スポーツ課 担当:大橋・長坂・北川
住所:〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号
TEL:077-528-3363 Fax:077-528-4832
E-mail:kokutai@pref.shiga.lg.jp

(仮称)彦根総合運動公園整備事業

みんなで考える公園づくり ワークショップ ニュース 1

7月を迎え、木々の緑もより深くなってきました。
滋賀県では平成36年に開催される第79回国民体育大会と第24回全国障害者スポーツ大会のメイン会場となる「(仮称)彦根総合運動公園」の整備計画づくりに取り組んでいます。
より良い公園づくりに向けて、みなさまのアイデア、ご意見をお聞かせいただき、全3回の予定でワークショップを開催しています。
6月18日に、第1回ワークショップを開催し、公園整備の再整備に向けた基本計画を説明した後、新しい公園の使い方について参加者のみなさまで考えました。

平成28年7月 滋賀県



●ワークショップとはみんなでワイワイとアイデアや意見を出し合い、より良い公園づくりを考えます。

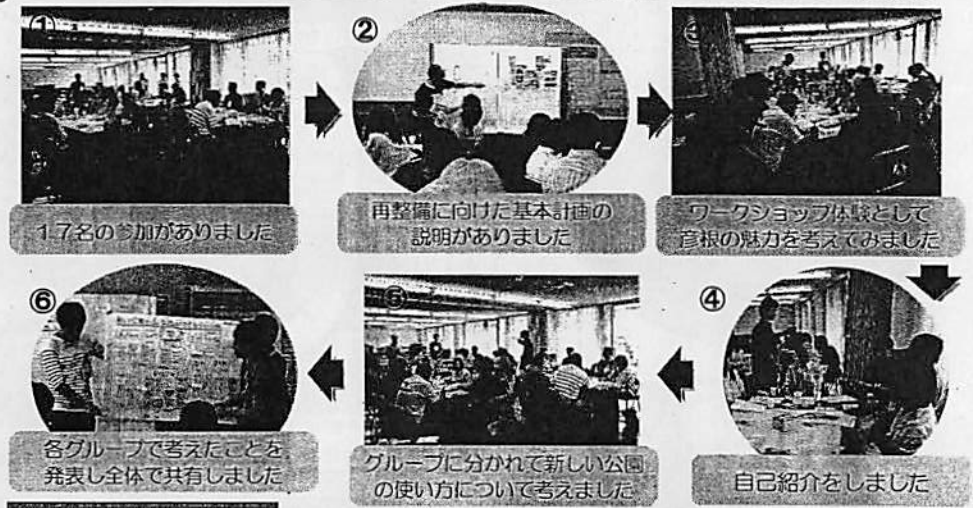
ワークショップの様子と内容をニュースにまとめました!



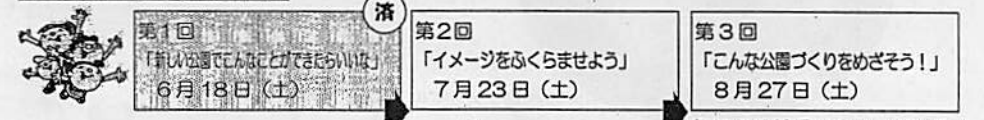
どんな公園になったらいいかな?

第1回ワークショップの様子

日時:6月18日(土) 10:00~12:00
場所:県立彦根総合運動場内 スイミングセンター大会議室



ワークショップの予定



気になる結果は次ページから!

新しい公園で

こんなことが できたらいいな

スポーツを楽しむ

- バドミントン、グラウンドゴルフ、フットサルなど、いろいろなスポーツをする。
- スポーツ施設を充実する。また、芝生や土など平らな自由に使えらるグラウンドをつくる。
→芝生は養生期間には使えないなど、利用頻度が下がるため人工芝や土が良い。
- 競技場を一般利用する。
- ナイター設備を設置し、夜もスポーツをする。

スポーツ好きの
県民のポテンシャルアップ

幼児、子ども、大人の
使い分けも必要

災害時の避難地となる

- 災害時の避難場所として使える。(防災ベンチやあすまや、屋内避難施設など災害時に使用できる機能がある)

アクセスを良くする

- 彦根城からのアクセス道路が不便。改善が必要。

まわりの水位が高くなると心配



1 班の検討の様子



3 班の検討の様子

日常的に楽しむ

- いろいろな人がさまざまに楽しむ。
- 休日を公園で過ごす。
ヨーロッパ的に
- 芝生広場でピクニックをする。
- バーベキューをする。
- おにぎりを食べる。
- 部活帰りにくつろぐ。
学生が立ち寄る
- 水遊びをする。
- ボール遊びをする。
- 緑の広場で遊具で遊ぶ。(遊具を充実する)
- 散歩やウォーキングをする。(園路を楽しくして、距離表示をつける)
- 国体終了後は市民が安く使える競技場にする。
- 公園は囲わないでオープンにする。

イベントを開催する

- 出店やマルシェ、大規模な朝市などを開催する。
- お城まつりとゆかたまつりを一緒に開催する。
- 親子向けのイベントをする。
- 広場で小学校区のイベントをする。
- 花火観覧席を設けて、花火を見る。
- 運動以外の公園らしいイベントをする。
- サッカーなどのスポーツ教室をする。
- 彦根市民の体育祭や学生+市民の運動会を開催する。(いろんな世代でいっしょに！地域の力、仲間意識を向上する)
- 防災訓練をする。

市外の人にも使ってもらおう

- 公園を観光ルートに含み、観光客も彦根市民も楽しめるようにする。
- 水辺周遊コースの一部にする。
- 琵琶湖サイクリングロードに取り込む。(公園で休憩する)
- 日本遺産に「琵琶湖とその水辺景観」が認定されている。水辺景観は売りになる。(昔の堀をイメージして整備する)
- ひこにゃん。城などの資産を活かす。
- リピーターをつくる。
- 世界一の目玉となるものをつくる。

宿泊する

- 宿泊施設をつくって、合宿、マリンスポーツの拠点に。(今は長浜ドームに取られている) 鳥人間コンテストで来る人も使える。
- 温泉を掘る。足湯をつくる。
- いろいろな人が集まれる場所をつくる。(集会施設、会議室)

彦根城・金亀公園と一体で広々と

- 彦根城、金亀公園と一体的にする。(公園的なところを広くする)
- 公園内の各エリアが分断されないようにする。
彦根城とセットで利用
- 駐車場を地下にすれば、広々と使えて、景観的にも良いのでは。

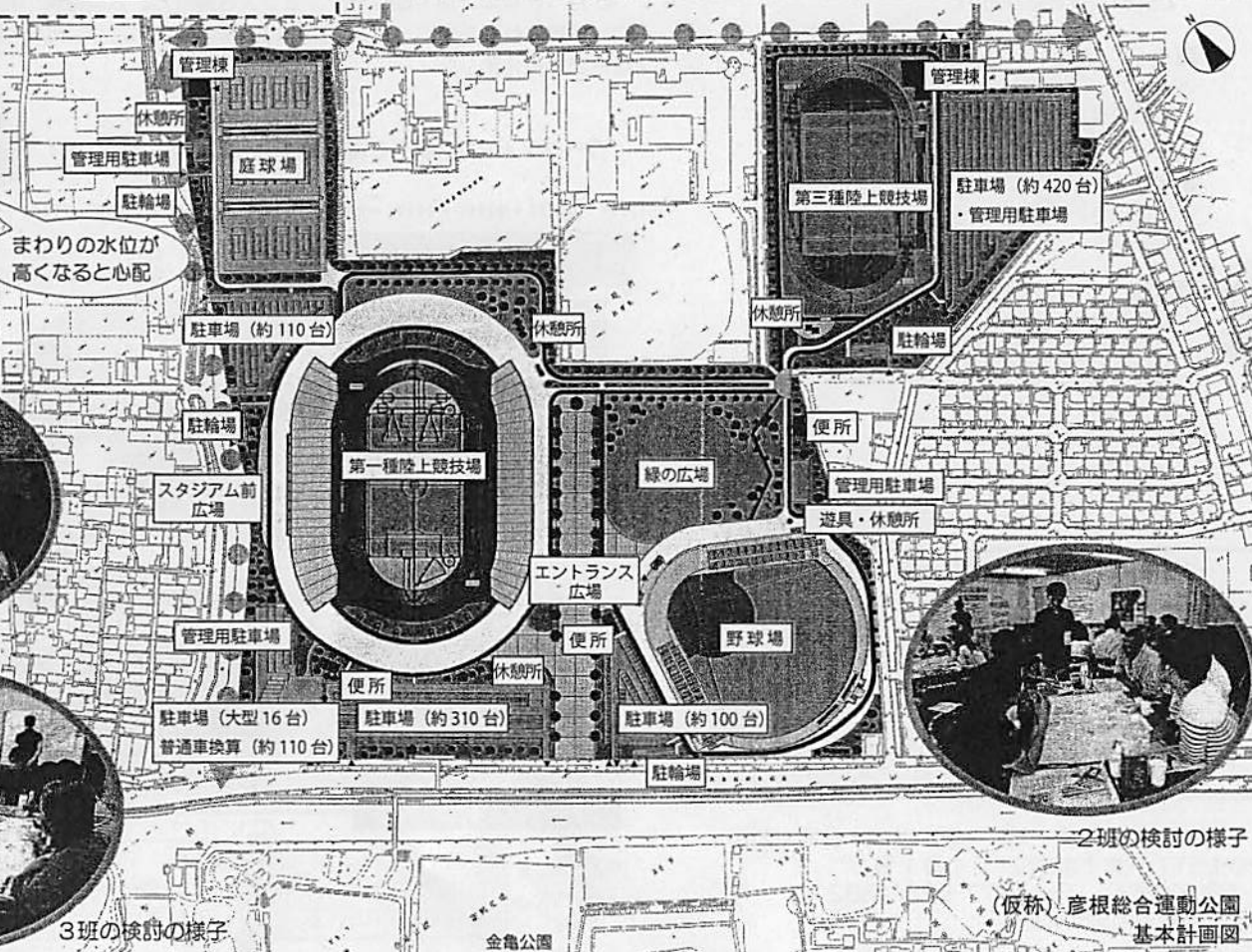
四季、自然を感じる

- サクラ、モミジで四季を感じる。
- 蔭棚で休む。
彦根はサクラ!
- 木々に囲まれた休憩所
- 木陰でひと休りする。
- 緑の湖になるようにする。
- 芝生の場所をつくる。
- 彦根城、伊吹山の雪化粧がキレイ。活かさないか。



彦根らしい良い景観にする

- 建物は彦根城などとの調和を考える。(和と洋の融合、木材等自然素材の利用など)
- エントランス広場には高木を複数植える。(お城への軸を合わせる)
- アスファルトはあまり使わないでほしい。



2 班の検討の様子

(仮称)彦根総合運動公園
基本計画図

現地を見ての感想

前回のアイデアをふまえて現地を確認しました。参加者のみなさんの感想には次のようなものがありました。

- 休憩広場ははじめて知った。あまり使われていない様である。使いにくい場所は新しい公園に作らないようにしたい。
- 今のモニュメントの場所はビューポイントなので、高いものを設置するのはやめよう。
- モニュメントは良い場所にあるが、説明がなく、メッセージがわからなかった。
- 県道の電線が気になる。地中化できないか。



新しい公園でこれが大事と思う日常の利用は？

グループでの検討の前に、「新しい公園でこれが大事と思う日常の利用」についてシール貼りアンケートを行いました。

項目	競技スポーツをする	いろいろなスポーツ・運動をする	広場で自由にスポーツ・運動をする	一般利用する	競技場やナイター設備を一般利用する	ふらっと立ち寄り自由に楽しむ	部活帰るなど日常的に楽しむ	ピクニック・バーベキューなどみんなで楽しむ	ボール遊び、遊具遊びなどさまざまに遊ぶ	ジョギングやウォーキングをする	出店やマルシェ、朝市などを開催する	いろいろな大規模イベントや防災訓練をする	体育祭や運動会をする	彦根城と一体的に観光コースとして利用する	日常的に金亀公園と一体的に利用する	水辺周遊やサイクリングコースの一部にする	集会等みんなで使う	彦根の四季・自然を感じる	その他
投票		●●●	●●	●	●●●			●	●●●		●●	●	●●●●	●●	●	●			
合計	0	3	2	0	1	3	0	2	1	0	5	2	1	1	0	0	0	0	

新しい公園として、彦根城とともに観光拠点になること、また、競技者だけでなく一般市民がスポーツ・運動、遊びなどに使いやすい公園になることが大事だと多くの意見が多くなりました。

参加者の感想 (抜粋)

- ・少し具体的な話になりイメージができた。・色々なアイデア、視点があり参考になりました。
- ・市民、地元の意見がどれだけ伝わるのが案・参加者が少なかったことが残念。しみです！

暑い中お疲れ様でした！

ワークショップに関するお問い合わせ先

滋賀県 県民生活部 スポーツ課 担当：大橋・長坂・北川
住所：〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号
TEL：077-528-3363 Fax：077-528-4832
E-mail：kokutai@pref.shiga.lg.jp

(仮称)彦根総合運動公園整備事業

みんなで考える公園づくり

ワークショップ

ニュース2

未定稿

夏本番！琵琶湖が多くの人でにぎわう季節となりました。

平成28年8月 滋賀県

滋賀県では平成36年に開催される第79回国民体育大会と第24回全国障害者スポーツ大会のメイン会場となる「(仮称)彦根総合運動公園」の整備計画づくりに取り組んでいます。

より良い公園づくりに向けて、みなさまのアイデア、ご意見をお聞かせいただき、ワークショップ(全3回)を開催しています。

7月23日に、第2回ワークショップを開催し、第1回ワークショップでいただいた利用のアイデアをふまえて現地を確認した後、計画図を見ながら、具体化しました。



●ワークショップとは
みんなでワイワイと
アイデアや意見を出し
合い、より良い公園
づくりを考えます。

ワークショップの様子と内容をニュースにまとめました！



どんな公園に
なったら
いいかな？

第2回ワークショップの様子

日時：7月23日(土) 10:00~12:15
場所：県立彦根総合運動場内 スイミングセンター大会議室
参加者：7名



① 前回のおさらいからスタートしました



② 前回のアイデアをふまえて現地を確認しました



③ 県から前回のアイデア実現に向けた課題の説明がありました



④ シール貼りアンケートで前回のアイデアを見直しました



⑤ グループに分かれて前回のアイデアを具体化しました



⑥ 各グループで考えたことを発表し全体で共有しました

ワークショップの予定



- 第1回 「新しい公園でこんなことができたらいいな」 6月18日(土)
- 第2回 「イメージをふくらませよう」 7月23日(土)
- 第3回 「こんな公園づくりをめざそう！」 8月27日(土)

気になる結果は次ページから！

今回は、第1回ワークショップで考えた利用のアイデアをふまえて現地を確認した後、計画図を見ながら具体化していきました。



競技場の一般利用イメージ

第一種陸上競技場

- ・専門的な競技が中心になるだろうが、オープンに一般利用もできるようにする。
- ・地域の子どもの練習場にもなる。
- ・収益も必要なのでコンサートや大イベントも開催する。

連絡橋

- ・ポートの邪魔になるので、旧港湾の中に柱をつくらない。
- ・公園をつなぐ橋はバリアフリーにする。(エレベーターが必要では)

金亀公園 多目的広場

- ・広場で自由にスポーツ・運動をする。
- ・ボール遊び、遊具遊びなどさまざまに遊ぶ。
- ・人工芝の広場が良い(雨でも使える、養生期間がいらぬ、子どもが裸足で遊べる)
- ・照明など景観に配慮する。(ナイター照明の支柱がなくならないか)
- ・多目的広場は使いやすい場所に配置する。(使い勝手は利用者で考える)



多目的広場の利用イメージ

金亀公園・彦根城との一体化

- ・金亀公園との役割分担を明確にし、県と市で施設の一体化や利用の住み分けを調整する。(多目的広場の利用など)

エンタランス広場と県道の交差点部

- ・彦根城の撮影ポイントになる景観スポットとして考える。
- ・景観を考えると電線の地中化が必要。
- ・ビューポイントに景観を阻害する高いものを設置しない。

【広場の住み分けの例】

(仮称)彦根総合運動公園

- ・競技場は一般のスポーツ利用やイベント利用
- ・緑の広場はさまざまな遊び、憩いなど多目的利用
- ・第三種陸上競技場東側駐車場の一部を日常的に広場として利用

金亀公園

- ・これまでの利用に加えて、自由な多目的広場でスポーツ・運動利用

駐車場

- ・国体後は駐車場の台数が少なくすむのでは。
- ・国体終了後は土の広場にはどうか。(一般利用ができるサブグラウンド)



さまざまな楽しみ方のイメージ

緑の広場

- ・緑の広場は親子利用を考えて、駐車場の近くにしてほしい。
- ・広場全体を広く、大きく使う。
- ・BBQ 利用、ボール遊びなど気軽にいろいろな利用ができるよう工夫する。
- ・テニスコートの場所を再考してはどうか。

エンタランス広場

- ・緑の広場と連携し、イベント等を実施する。
- ・せせらぎについては、見る水か、利用する水か方向性を決める。
- ・浄化センターの水が引き込めるのでは。



サイクルセンターのイメージ

その他

- ・簡易宿舎としても利用できるサイクルセンターを整備する。(収益に結び付く)
- ・総合運動公園と金亀公園は整備時期をずらしてほしい(利用できない時期を少なく)
- ・トイレを増やす
- ・死角がないようにする。